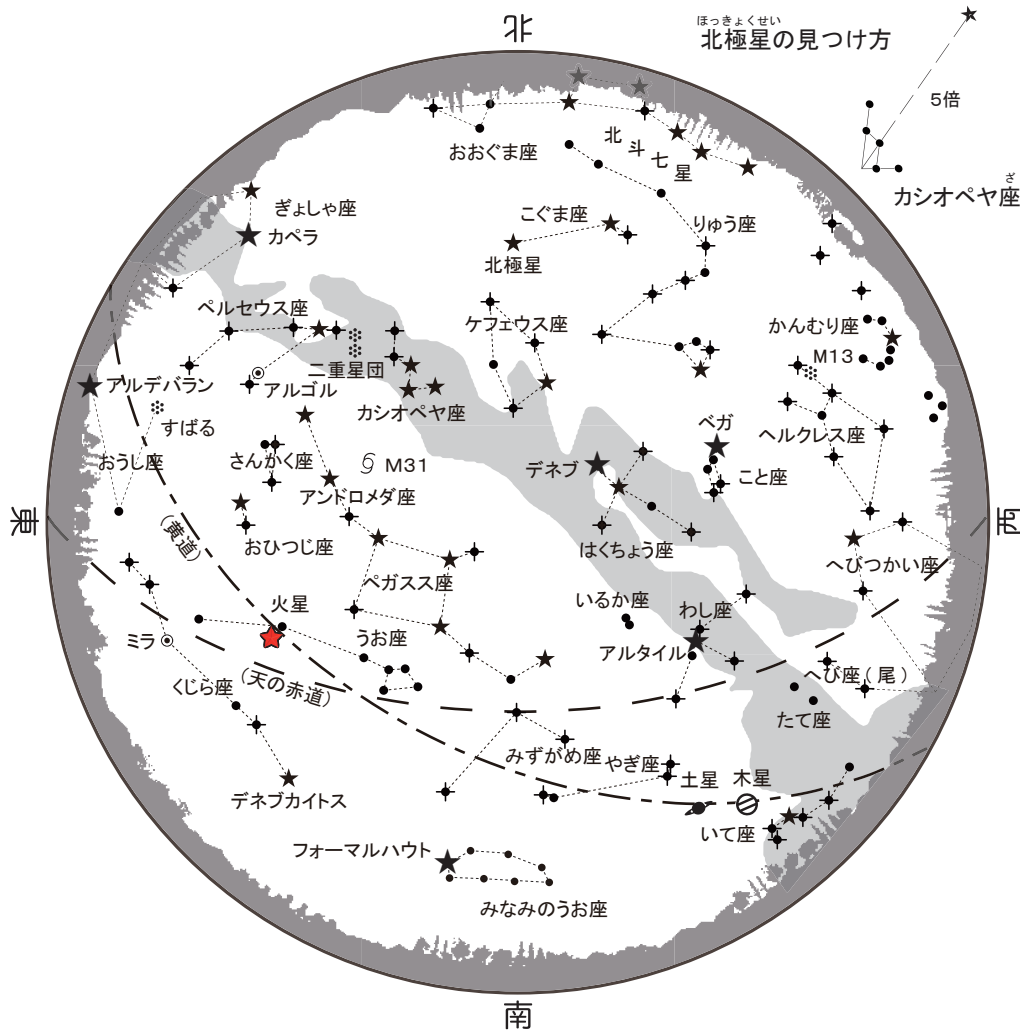


富山でみえる 2020年10月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～

10月 5日 午後9時ころ
10月 20日 午後8時ころ
11月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

10月 2日 満月 ○
10月 10日 下弦 ◐
10月 17日 新月 ●
10月 23日 上弦 ◑
10月 31日 満月 ○

ペガサス座



「秋の四辺形」と呼ばれる大きな四角形の星の並びがあり、秋の星座たちを探す目印です。ペガサスは、ギリシャ神話に出てくる空を飛ぶことのできる翼をもった馬です。星座絵では、後ろ半分が雲にかくれて見えないことになっています。

カシオペア座



北極星を見つけるための星座としてよく知られています。Wの形が目印と言われていますが、秋はひっくり返ってMの形に見えます。日本では、船のいかりや山の形に似ているので「いかり星」とか「山がた星」と呼ばれました。

ケフェウス座



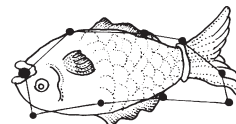
北の空にある五角形の星の並びが特徴の星座です。カシオペア座の隣にあり、ギリシャ神話ではカシオペア王妃の夫、アンドロメダ姫の父親です。とても濃い赤色をした「ガーネットスター」などの星があります。

みずがめ座



ペガサスの頭の星の南からフォーマルハウトへつながる、暗い星の並びがみずがめ座です。男の子は、ワシに変身したゼウスが神の世界に連れてきたガニュメデス少年です。みずがめから出ているのは、宴会で飲む水とお酒とも言われています。

みなみのうお座



南の空の低いところで、ぽつんとかがやいている白色の1等星フォーマルハウトが目印です。フォーマルハウトには「魚の口」という意味があります。「秋の一つ星」や「南の一つ星」とも呼ばれています。

せいざ 秋の星座の見つけかた

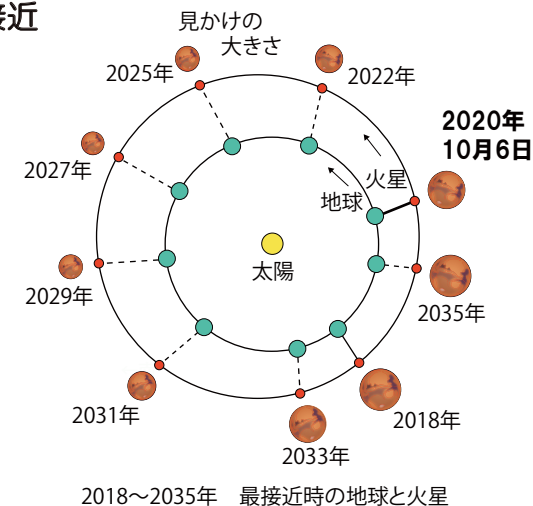


10月中旬ごろ 午後8時ころ

- 1 頭の真上（天頂）から少し東のところに、秋の四辺形を見つめます。
- 2 秋の四辺形の西側の辺を南にのばし、みなみのうお座のフォーマルハウトを見つめます。
- 3 フォーマルハウトの上にみずがめ座があり、さらにその西に逆三角形の形をしたやぎ座を見つめます。
- 4 西の空にまだ見えている夏の三角形や、その近くにある、や座、いるか座、こうま座も見つけてみましょう。

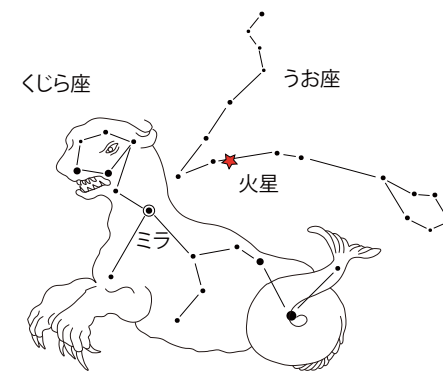
さいせつきん ○10月6日 火星が地球に最接近

この秋の夜空に赤くかがやく火星は、地球の1つ外側を公転している惑星です。火星は直径が地球の半分ほどしかなく、地球から遠い位置にあるときには、望遠鏡を使っても表面の様子をなかなか観察することができません。しかし、およそ2年2か月ぶりに地球に接近するこの秋は、観察の好機です。10月6日に距離は6207万Kmまで近づき、-2.6等くらいの明るさになります。今年の秋は、赤くかがやく火星に注目！！



ざ きょくだい ○くじら座のミラが極大

くじら座が、宵の南の空で見ごろとなります。クジラの心臓のあたりにあるミラは、約330日周期で明るさが2～10等まで変わる変光星です。今年10月ごろに最も明るくなると予想され、赤いかがやきは肉眼でも見えます。近くに火星もかがやいているので、見つけやすいでしょう。



○10月1日 中秋の名月

今年の「中秋の名月」は、10月1日。旧暦8月15日の夜に見える月をさし、「月見る月はこの月の月」と人々に親しまれてきました。前日の月は「待宵（まつよい）」、満月の翌日は月の出がやや遅くなることを月がためらっていると見立て「十六夜（いざよい）」。その後も順々に、立待（たちまち）月、居待（いまち）月、寝待（ねまち）月、更待（ふけまち）月という名で表されてきました。人々が、月の出を心待ちにしていたことがうかがえますね。

